

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	母体組織の理念に基づきグループホーム独自の方針を作っている。	
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	会議時に理念の共有をし日々のケアの実践に繋がる様に努めている。	
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	地域の中へ参加する機会を増やす事で、理念の浸透に努めている。	
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	入居者との散歩時には近隣の方への挨拶を行って施設の認知に繋がる様に努めている。	
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近隣の地区の行事等には出来るだけ参加を行っている。また、月一回入居者と共に近隣へゴミ拾いを行っている。	

福岡県 グループホーム陽だまりの丘

項目	取り組みの事	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>昨年は地域よりの要請により協力病院の医師による研修を地域で行った。</p>	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>職員全員で自己評価に取り組んだ。</p>	
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回実施している。防災訓練に参加して頂きご意見を頂いた。</p>	
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>現在は会議に参加していない。</p>	<p>今後も町との連携に努めていきたい。</p>
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>全体会議において勉強会を実施している。</p>	
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>ホーム内外での勉強会に参加したり、ユニット会議において話し合いをもち、防止に努めている。</p>	

項目	取り組みの事	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時相談員と共に説明を行い納得して頂いている。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者様の意見や不満の声を吸い上げ、職員は出来る限り支援に活かしている。今後もっと苦情等を出しやすい声かけや対応に努めていきたい。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時、懇親会等にて状態を報告している。面会の少ない家族には文書や電話にて報告している。スタッフの移動については新聞等にて報告をしている。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族に対するアンケートを実施し意見要望をケアに活かして改善出来る様に努めている。</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>全体会議、ユニット会議において職員の意見を機会をもっている。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>余裕を持った人員ではないが、日々の状況に応じ勤務の調整をしながら柔軟に対応している。</p>	

福岡県 グループホーム陽だまりの丘

項目	取り組みの事	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>やむを得ず交代する場合は職員の経験なども配慮しながらダメージの少ない様に心がけており、情報交換や引継ぎ等を十分行う様にしている。</p>	
5. 人材の育成と支援			
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>職員に対してパート等差別なく研修参加を薦めている。</p>	
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>入居者の人権についてはユニット会議等において話し合いを持っている。</p>	
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人での研修やホーム内ホーム外研修の機会を設けており法人も参加を推進している。</p>	
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会に入会しており、他グループホームの見学等行い、同業者との交流の場を持っている。</p>	
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>充分ではないが職員事務所にて短時間でも身体を休める事が出来るように心がけている。</p>	

項目	取り組みの事	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24 向上心を持って働き続けるための取り組み  運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	評価制度を実施して、実績、努力を把握し評価を行っている。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25 初期に築く本人との信頼関係  相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談時は家族から本人の心身の状況をお聴きし、入居前には本人に面接を行い不安や思いを受け止める様にしている。		
26 初期に築く家族との信頼関係  相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談時、また入居者には相談員と共に家族の状況や不安なことなどお聞きして受け止める努力をしている。		
27 初期対応の見極めと支援  相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時には相談員と共に実情をお聴きし、現在何が必要で適しているかを助言している。		
28 馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居間近にはホームに訪問して頂き、雰囲気を感じ、馴染んで頂く様な努力をしている。入居後も家族と連絡を取りながら馴染んで頂くよう努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29 本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	出来る方には本人の能力に合わせ、生活の中で力を発揮して頂ける様な場面を作り活躍して頂いている。また、レベルに合わせてスタッフが付き添いながら生活の中で支えあう関係作りに努めている。		

福岡県 グループホーム陽だまりの丘

項目	取り組みの事	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	外出の機会やコミュニケーションがスタッフだけの支援に偏る事の無い様、ご家族と連絡を取り合い出来る限り面会や行事参加をお願いしている。	
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	気軽に面会や行事参加をして頂ける様、アプローチしてきたことで、ご家族との関わりが増えてきた方もおられるが、ご家族の高齢化に伴う健康状態等の変化でお願いするのが難しくなっている方も増えてきている。	面会が難しくなっているご家族には定期的なお手紙や電話等による関わりをさらに大きくしていく必要がある。
32	馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	出来る方には、近隣への散歩をしたり、知人などにも面会に来て頂いている。	
33	利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	スタッフが橋渡ししないと時にはトラブルに至る事もあるが、馴染みの関係になれば、スタッフが間に入らずとも自然に会話が弾み、手助けをされているばめんも見受けられる。そのような時はあえて介入せず見守りしている。	
34	関係を断ち切らない取り組み  サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約終了後も相談等要請があれば対応を行っている。	
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
1. 一人ひとりの把握			
35	思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々本人の思いや必要としている事をお聴きしたりしている。表出出来ない方は本人の思いをくみ取りながら支援に活かしている。	

福岡県 グループホーム陽だまりの丘

項目	取り組みの事	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族、本人より今までの生活歴や馴染み等をお聴きして支援に活かしている。	
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の身体状態をチェックしながら1人1人の個性に合った生活支援をしている。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者の日々の生活から、思いや願いを見付けられる様、ご家族の意向をお聞きした上でチーム全体で検討している。その中でご本人・ご家族にとってのより良いケアを見つけ、介護計画を作成・実行している。	
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	変化が生じた際は現状に即する様見直しを行っている。	
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の実践のみでなく、気づき等も記入して介護計画に活かしている	
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携体制を活かして入居者の生活の継続に努めている。	

項目	取り組みの事	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
42	<p>地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>地域の催し事への参加、ボランティアの訪問、緊急時の為の消防、行政への協力の要請等を行っている。</p>	
43	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>現在は行っていない。</p>	<p>今後入居者の必要に応じ考慮していきたい。</p>
44	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>現在は行っていない。</p>	<p>今後は協力を要請していきたい。</p>
45	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人や家族の希望に沿い、かかりつけの医師への受診や専門医への受診も行っている。</p>	
46	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>隣接医師のアドバイスを受けたり近医への診察など行っている。</p>	
47	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>医療連携体制を活かして、日々の健康管理や緊急時の対応を行っている。</p>	



福岡県 グループホーム陽だまりの丘

項目	取り組みの事	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48 早期退院に向けた医療機関との協働  利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時は相談員と共に、入院先病院関係者との情報交換を行っている。		
49 重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時には終末期指針の説明と同意を頂いており、入居者の状況により家族の意向をお聴きしたい。		
50 重度化や終末期に向けたチームでの支援  重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化に向けてはチームで話し合いを持ち、又担当医と共に相談をしながら支援に取り組んでいる。		
51 住み替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	住み換え時は関係者間での情報交換を行い、ダメージを防ぐ様心がけている。		
<p><b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
52 プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーを損ねない様な対応を心掛けている。又、記録は人目にふれえない、扉付きの棚に保管している。		

福岡県 グループホーム陽だまりの丘

項目	取り組みの事	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	御本人の希望を聞きながら、理解して頂ける様に説明し、納得して頂いた上で決定して頂いている。	
54	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	事業所の決まり事ではなく、1人ひとりのペースに合わせた対応を行っている。	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	訪問理容を利用している。	
56	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	食材切り、盛り付け、準備、片付け等、それぞれの得意な分野での手伝いをして頂き、又、食卓テーブルの配置やメンバーをその時の心身の状況を考慮しながら、変更していき、色々な会話をしながら楽しく食事ができる様にしている。	
57	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	夕食後にビールを好まれる入居者にお出ししている。又、各入居者の好みの物を用意し、状況に応じて楽しんで頂ける様にしている。	
58	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	排泄チェック表を作る事で、御本人の排泄パターンを把握出来る様努め、トイレ案内を行ったり、状況に応じたオムツの使用を行っている。	

福岡県 グループホーム陽だまりの丘

項目	取り組みの事	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	御本人の希望を出来るだけ尊重し、業務の簡素化をはかり、入浴出来る機会を増やしている。	
60	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	休息や就寝は、御本人の希望を最優先している。	
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
61	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	1人ひとりの生活歴をふまえ、役割を持って頂いたり、気晴らしに繋がる様、外出する機会を作っている。	
62	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	現在の入居者のレベルでは、金銭管理は難しいので、御家族の了解の上、事業所管理となっている。	
63	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	御本人の希望により、スタッフ同行で外出したり、季節を感じて頂ける様、バスハイク等計画し、実行している。	
64	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	要望があれば、家族と相談し、協力して頂いている。	

項目	取り組みの事	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>御本人の希望があれば、自ら電話を掛けて頂いたり、電話が掛かってきた際は、御本人に直接話をして頂いている。又、手紙や葉書は直接、御本人にお渡ししている。読まれる事が困難な時は、代読している。</p>	
66	<p>家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	<p>訪問時間の制限はなく、いつでも気軽に訪問して頂き、ホールや居室で談話して頂いている。</p>	
(4)安心と安全を支える支援			
67	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>スタッフ間で勉強会を開いたり、話し合いをする事で、拘束についての理解が深まってきた。危険を回避する為の言葉掛けはあるが、御本人の行動を抑制する事のない様、努めている。</p>	
68	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>出入口のセンサーは設置しているが、それに頼らず1人ひとりの動きを常に把握し、スタッフ同士で声を掛け合いながら対応している。日中、鍵はかけていない。</p>	
69	<p>利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>居室のドアは、御本人の自由に開閉して頂き、所在や様子を把握している。又、建物の構造も観察しやすくなっており、夜間帯も全員の動きが把握できる場所にスタッフがいる様にしている。</p>	
70	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>必ずしも、全員の危険な物品を預かるのではなく、その方のレベル、その日の状態により判断し預かり、保管、管理している。</p>	

福岡県 グループホーム陽だまりの丘

項目	取り組みの事	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71 事故防止のための取り組み  転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	学習会を開いたり、火災訓練を通して、事故防止の為の知識を学んでいる。又、1人ひとりの状態を把握する事で、注意するポイントの観察を重点的に行っている。		
72 急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	定期的に救急法の学習会を行なうと共に、学習委員会を設け、緊急時対応マニュアルや、緊急時連絡網を作成し活用している。		
73 災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の消火避難訓練を行なっている。		
74 リスク対応に関する家族等との話し合い  一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	面会時場合によっては電話にて御家族に随時説明し、抑圧感のない暮らしをして頂ける様支援している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
75 体調変化の早期発見と対応  一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日々バイタルチェックを行ったり、状態を観察し異常が認められる際は、スタッフ間で情報を共有し、対応に結び付けている。		
76 服薬支援  職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書はスタッフ全員が目を通して見ている。その上で、服薬の支援をし、症状に変化が見られる時は、報告をし対応している。誤薬のない様、目のつく所に張り紙等し、注意を促している。		

福岡県 グループホーム陽だまりの丘

項目	取り組みの事	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>スタッフ間で便秘予防になる情報を出し合ったり、食事や飲み物等を工夫し、自然排便を促すよう努めている。</p>	
78	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>御本人の習慣や、持っている力を活かして頂き、不足している所を支援している。</p>	
79	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事量のチェックを毎回行い不足分は、1人ひとりの状態を見て嗜好に合わせた食べ物や飲み物で補っている。</p>	
80	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染委員を設立している。マニュアルに目を通したり、話し合いの場を設け、感染防止に努めている。</p>	
81	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>食材や調理器具の衛生管理法の取り決めがあり、実行している。</p>	
(1)居心地のよい環境づくり			
82	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>周囲には畑、玄関先に植物やベンチを設置し、親しみやすい様な、環境作りを心がけている。</p>	

福岡県 グループホーム陽だまりの丘

項目	取り組みの事	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を飾ったり、緑の鉢を置き、目を和ませると共に、リビングや廊下にソファや椅子を置き、好みの場所で過ごせる様配慮している。	
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	各所にソファや椅子を置き、談話できる空間を設けている。	
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	御家族の都合により、新品を持って来られる事もありますが、なじみの物を持って来て頂き、居心地良く過ごせる様にしている。	
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	スタッフの体感に合わせるのではなく、高齢者に合った空調を心がけている。換気は随時行なっている。	
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者の身体機能に合わせた環境作りをしています。	
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室やトイレテーブル席などに表示を行い、混乱を防止できるようにしている。	
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関にはベンチ、中庭には、犬を飼っている。又、ほうきを置いたり等すぐに作業出来る様配慮している。	

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	



福岡県 グループホーム陽だまりの丘

項目	最も近い選択肢の左欄に をつけてください。		
98 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="checkbox"/>	ほぼ毎日のように	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	数日に1回程度	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	たまに	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	ほとんどない	<input type="checkbox"/>
99 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="checkbox"/>	大いに増えている	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	少しずつ増えている	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	あまり増えていない	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	全くいない	<input type="checkbox"/>
100 職員は、生き生きと働いている	<input type="checkbox"/>	ほぼ全ての職員が	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	職員の2/3くらいが	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	職員の1/3くらいが	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	ほとんどいない	<input type="checkbox"/>
101 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="checkbox"/>	ほぼ全ての利用者が	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	利用者の2/3くらいが	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	利用者の1/3くらいが	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	ほとんどいない	<input type="checkbox"/>
102 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="checkbox"/>	ほぼ全ての家族等が	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	家族等の2/3くらいが	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	家族等の1/3くらいが	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	ほとんどできていない	<input type="checkbox"/>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

各入居者の好まれる事（外食に行く等）や、その人なりの役割を無理せず適度に行って頂けるようスタッフ全員で考え、楽しく・安心した毎日が過ごせるよう支援しています。